

其二

治本工作

行政機關協和會其他ノ機關何レモ滿洲國ノ行政浸透ハ治
 安肅正カ其第一歩ナリトノ見地ニ立テ行政事務ハ之ヲ從トシ
 各首腦者何レモ進ニテ第一線ニ出テ民衆ヲ激勵シ彼等
 ト共ニ治本諸工作ニ全カヲ傾注セシ結果亦多クノ效果ヲ上げ治
 標田圃想工作ト相俟テ治本肅正ニ劃期的成果ヲ發揮セリ

特ニ警備道路ノ構築、警備電線ノ架設、集團部甚
 望標 監視作ノ建設、革者社休者~~等~~ニ於テハ敵面ノ知リヲ防

長
官

動ニヨリ屢々妨害ヲ受ケ之カ爲新成郡家内務行政機關
復協和會員一般民衆等多大ノ損害ヲ受ケタルモ之ニ居ル
不十分斷乎トシテ予定ノ計畫ヲ遂行セシム貴國ニ價スルアリ
一 暫定簡道路ノ建設補備洋化
当方面地不不良ニシテ匪賊ノ盤踞地帯トシ行政滯延也サ
ル根本原因ノ道路ノ不備ニアリ

即チ之京圖線及ト夫平夫一通化鉄道南其ニ縦貫シアルモ
其中間ニアル白頭山地区ハ匪道ノ外道路ト稱ス(キモノナカリ

0704

シヲ以テ兩鉄道ヲ東西・連絡ス 通化樺甸一敦化道

通化一濛江一撫松一安圖一明月溝道

兩鉄道ノ中間ヲ南北ニ縱貫ス 吉林一樺甸一安圖一

神武城道 (朝鮮内ノ北鮮振興道路ニ連絡ス 爲滿

洲國側ニ於テ朝鮮内ノ十三料ヲ建設ス)

京圖線ト牡丹江一圖們鉄道ノ形成ス 三角地帯ノ

立トシテ山頂ヲ通ル 明月溝一春陽道ヲ増築ス又ハ新

設シテ之ヲ根幹トシテ敷多ノ整頓道路ヲ完成セリ

五
五

新敷道路ノ路線決定ハ、沿子甫正用始後連ニ実施スルヲ
 指示セモ、撫松、安圖、同、安圖、神武城道ノ如キハ、當時
 敵匪ノ妨害ヲ受ケ進歩セズ、冬季ニ入り、撫松、安圖道ハ
 歸順匪ノ誘導寸ニヨリ、概不從来アリシ、匪道ヲ路線ニ
 改定、安圖、神武城道ハ、滿鮮、密輸業者ノ安堵
 由ニ依リ、危険ト稱雪ヲ犯シ、概不從来輸送路ヲ基盤ナ
 トシテ、路線ヲ改定セルモノニシテ、何レモ、善化觀念、匪成思ハ
 日系官軍ノ強行偵察ノ結果ナリ

0706

一九四〇

斯ウレテ其年春より全年九月ニ到ル間新設竹千二百軒

補修強化せん竹二千軒ノ大工事ヲ各省競争的ニ定ム

施シ之ヲ完成セリ

之ニ要セシ費用約千七百万円(道路両側ノ清掃代除キ)

五百万円ヲ含ム)ニシテ殆ド附近民衆ヲ動員シ一日一月ノ日

当ヲ支給シ夫干仕的ニ定メ施スナリ

道路上ノ橋梁整修備電話線等ノ塵土前庭ノ為破壊焚却

セラルルヲ以テ各都府縣警察隊ニ整備担任区域ヲ禁ハス

陸軍

故アリ名トキハ直ニ補修セシムル事トセリ

橋ノ重要ナル橋梁ヲ橋頭堡ヲ構築シ警備隊自ラ

取回セリ

二 警備隊電話

社成司令部ト各地区討伐隊(首領在也)各地区討伐隊

ト各務(地区毎)各務分署ト橋頭堡各要点上ノ電話連絡

ヲ實施シ通信如ク新設スル補備強化ス

尚隣接橋相互ニ連絡シ通信如ク取慮ス

0708

層々敵匪之切討せらるる附近之ハ警防隊ヲ配置シ警備スルモ其ノ補

修材料ヲ附近ニ自ラ積ミ置キ事故ハ免レズヤ其ノ補修セシメタリ

至電線監視ノ屬警防隊ニ警備区域ヲ配当スルヲ備

七七〇

三 他方面部若シテ防備施設ノ新設補備強化

金田部若シテ孤立セルモノハ敵匪ノ襲撃點ニ目標トシテ其ノ破壊掃蕩

セリし自衛隊員ハ武裝解除セラルル状況ナリシハ以テ治安書ヲ正

ノ進捗トシテ警備力ノ充實ニ即志シ金田部若シテ建設ヲ推進シ

陸軍

匪徒既ヲ受ケタル際ハ互ニ援助シ得ル如ク連防ヲ醸成シ持シ

日協軍 警備隊 警防隊ノ配置ト連絡ヲ保持セシム

ストニ協力メケリ

匪徒既ヲ受ケテ通好ニ得ル部ヲ武裝自衛団ヲ配置

セズ無防備部ヲ格トナリ

註 右ノ如キ部ヲ格ニ武裝自衛団ヲ配置スルトナリ武器獲

得テ目的トシテ必ズ敵匪ノ離散ヲ受ケルヲ以テナリ

在テ國部ヲ格ノ建設ハ部落民ノ自力ヲ以テ實施セシメ其間

0710

武力ヲ以テ接獲シ防備施設日滿軍警防隊又ハ行政
機關ニ於テ其旨ヲ施テ指道又ハ接助セシメタリ

四 監視所望標ノ新設強化

監視所望標ニ其旨ヲ依リ新設隊自ラ實施シ或ハ軍警

行政機關ノ指道ヲ下ニ民衆ヲ使役シ之ヲ施ス

而シテ其旨ニ依リ日滿軍警防隊又ハ警防隊ヲ

取置ス

指道ノ旨ニ依リ之ニ逆吹増加取置アリ

全
頁

0711

五、満軍整言ノ南正強化

満軍整言中、敵匪ニ由通シ我方ノ情況ヲ通報シ或ハ彈薬亦

銃若ノ売買又ハ書翰降参シ若クハ匪団ニ合流ヲ策スル等
ハシナ

不良者アリシヲ以テ各部隊リ部内査察ホク四顧ニシ不良者ヲ

淘汰シ蘇匪掃平訓練ニ重点ヲ指白シ必勝ノ信念ヲ

養成シ軍紀風紀ノ確立ニ努メタリ

満軍整言案隊員リ一般ニ素質不良ニシテ、坏人不当兵ナル

語アリ一般民衆ノ之ヲ嫌惡シ救遠主を我ヲ探ルノ実情ハ

0712

アリシヲ以テ 討伐 肅正 同軍 野言ノ 民衆 永クシテ 爲メ 辱ヲ 極ニ 録シ 爲

ト 雖モ 之ヲ 犯カサシムル 指 違テ シ 尚モ 之ニ 反テ 行爲ヲ ナセシムル 思 敵

四 割ヲ 加フル 事ト、セル 結果 討伐ノ 進捗ト 表ニ 遂ク 其ノ 成果 向上セリ

彼 等ヲ 指 違テ 爲メ 信 賞 也 四 割ノ 五 割ハ 輕 罰 也 要シテ 特ニ 軍

紀 檢 額、セル 部 隊ニ 對シテハ 極 刑ニ 科 事 也 嚴 四 割ノ 五 割ヲ 以テ

臨ハ 事ト 解 要ナリ

六 自 衛 団 及 民 衆ノ 訓 練 強 化

行政 機關 協 和 會、民 間 有 力 者 等 協 力 一 致ニ 治 安 肅 正ニ 協 力

陸 軍

是為ノ自覺ト部落防衛ハ即國家防衛ナリト感念ヲ興フルト
ニ力メタリ 之カ為先ブ青少年ノ訓練ニ重きを指白シ多大
ノ成果ヲ見ル務ヤリ
而シテ其用新法 教育備道路ノ建設輸送奉公隊ノ編
成等殆トド民衆ノ奉仕的努力ノ賜ト云フヲ得ハシ 又
銃器ヲ有ス自衛團ニ對シテハ 陸軍總務ト同格ノ訓練並
ニ強化ノ方策ヲ採用シ成ルヤク有給自衛團ヲ排シ並我富力自
衛團ナラシムル如ク指道ヤリ 蓋シ有給自衛團ハ素他異

0714

不良人多ク多ク敵匪ニ集セラル、之ノ多カリシヲ以テナリ

七、民生諸工作ノ実施

肅正計画ニ示スル如ク行政機關、協和會一體トナリテ実施シ

予期ノ成果ヲ登擲シ治平肅正ニ貢獻セルヲ多クナリ

八、匪民分離

討伐当初ニ於テハ匪賊ノ報復ヲ恐レ、匪ノ潛入ヲ密告スルノ者ナク又

敵匪ノ脅迫ニ依リ彼等ニ糧秣金銀兵器等ヲ供フルモノアリシモ

討伐ノ進捗ト民衆ノ訓練並ニ民生諸工作ノ実施、思想工作

巻 頁

進展に伴い官民協力の進展を期す

特ニ共匪ハ民衆中ニ根柢ヲ有シテ以テ之カ討伐ハ武力ノミニ

依リテ絶對成切セズ思想並ニ民生諸工作ノ実施ニ依リ民衆

ヲ戒味方トシ不良者通匪者ハ一般民衆ニテ指導セラルル如ク

施策スルヲ要ス

九、糧秣物資見渾業道ノ遮断

肅正討匪ニテ諸施策ヲ血脈ニ實施シ治安肅正ニ多大ノ功績ヲ奏ス

十、治療ノ実施

軍其他各機關ヨリ民衆ノ抱傷ノ為多大ノ効果ヲ奏揮セリ

0716